

授業の様子



「協同学習の理論と技法」導入パート、 「東京家政大学の歴史から学び、未来を創る」歴史パートについてのご報告

授業が開始して、およそ1ヶ月が経過しました。今回は、導入パートと歴史パートの授業内容についてお知らせいたします。

第1回授業（4月13日）では、「協同学習の理論と技法」導入パートとして、傾聴とミラーリングを通して、対話の姿勢を共有し協同して学ぶ仲間との関係作りを始めることを目的とし、新入生は傾聴すること・してもらうことの大切さを実感している様子でした。

第2回授業（4月20日）では「東京家政大学の歴史から学び、未来を創る」歴史パート（過去篇）に入り、本学の端緒をなす和洋裁縫伝習所が設立された当初の状況についてジクソー法^{*}を用いてチームで学びを深めました。当時の教育状況、女性の置かれた状況、若者が置かれた状況について相互学修を進めながら各自学びを深めていきました。

第3回授業（4月27日）では、本学が新制4年生大学として発足した当初の状況について、当時の学生の思いを追体験することで理解し、本学が開学された理由を考察しました。

第4回～6回と続く今後の歴史パート（現在編・未来篇）では、学科代表によるプレゼンテーションを通して各学科の多様な意見を知り本学の特徴について知ることや、先輩の学生からどのような思いで本学で学んでいるかを聞いたり、これからの時代を創造する学生の立場から本学の未来の姿を構想したりする内容となり、4年間の学びの見通しを持つことを目的に、本学の特徴・持ち味・個性について自分のキャリアイメージと関連させながら理解を深めていきます。

※ジクソー法…学習者同士の協力や教え合いを促進し、それを通して学びを得るという協同学習を活用した学習方法

教員からのレポート

「私なりの一言エッセンスを加えた授業」



児童学部 児童学科
戸田 雅美 教授

この科目開始のきっかけは、本学卒業生の川合貞子元学長先生です。川合先生は、ご自身の学生時代に多様な教員や学生と出会える授業が大変有意義だったとお話されていました。また、大学はその建学の精神の公開だけではなく、学生にそれを体現させることが大学評価等でも求められています。

授業では、学生たちに、これから拓く自身の未来が、本学の歴史にもなることにワクワクして欲しいと伝えています。また、私の専門から明治期の女子が学びたくて赤子を背負い子守りをしながら小学校を覗いて学んだという歴史を話した

り、みんなだったらアルバイトのお金を学校に寄付できる？なぜそこまでしたかったのかしら？などと問いかけたり、「当事者性」をもって、「自主自律」の精神を学び、若き日の川合先生のように人生の指針としてもらえるようにと考え、一言エッセンスを加えて授業をしています。

SAさんの努力もあり、今は時間内に収束が困難なほど熱心な話し合いになっています。また、担当する他の教員との協同が生まれ、内容を共有し合うことが、私には、一番の「授業のコツ」となっています。

授業の感想を紹介します

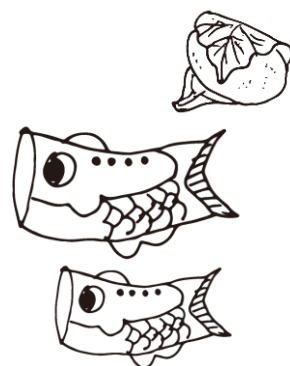
「みのりある協同学習のために必要なことは何ですか」「協同学習の良かった点、改善すべき点は何ですか」の問いに対し寄せられた新入生の回答を紹介します。

- 相手の話を聞くときに、相手の目を見たりうなずいたりなど、相手が話しやすい聞き方を意識しながら話を聞くことができました。また、復唱(ミラーリング)も行いながら自己紹介はできたのですが、ミラーリングがうまく進まず、会話が止まってしまう場面があったので、相手の話の確認や質問などで、会話をもっと深めたり、広げられるようにしたいです。
- 協同学習をみのりあるものにするためには、自分が班の中で話したいことをしっかりと整理をし、わかりやすく伝わりやすい形にしてから発表することが大切だと思います。そのため、授業前に予習を行い理解を深め、自分の意見を十分に用意してから授業に臨むことが重要だと思いました。
- 協同学習のためには、自分のことだけ、相手だけではなくて相手を尊重しながらも自分の意見をしっかりと伝えることができることが必要だと思います。他人に頼りすぎず、全員が自分のことのように取り組むことも必要だと思います。まずは、相手のことを知って理解することから始めていくと徐々にみのりある協同学習になるのではないかと思います。
- 良かった点は全員が意欲的に傾聴する姿勢があったことです。改善すべき点は、異なる意見の交換や討論があった時に、ただ単に聞いて同意するだけではだめだと感じたので、会話を聞いた上で、理解したことや、それについての自分の意見などを述べるできるようになりたいと思いました。
- 他の授業では関わることのできない、他学科の学生と仲良くなることができ、有意義な時間になりました。初めは緊張や遠慮がちな部分がありましたが、ミラーリングや相槌をすることによって、話しやすい雰囲気作りができました。改善点としては、お互いに遠慮していたが故に、譲り合ってしまう、時間をロスしてしまったので、次回からは時間内に課題を終わらせるよう、時間配分を気を付けたいです。

お知らせ

5月18日(木)の授業では「SAの発表」があります

上級生であるSAがこれまでに経験してきたこと、それらを通じて感じたこと、新入生へ伝えたいことなど、各自発表の準備を進め、新入生に向けてプレゼンテーションを行います。本授業は公開授業となっておりますので、みなさまのご参加をお待ちしております。



スタートアップセミナー自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター (板橋校舎 百周年記念館1階)

TEL : 03-3961-0284 E-mail : startup@tokyo-kasei.ac.jp